

ひまわり通信



後援会ニュース

2021年7月11日

日本共産党ふじき百合子後援会
庄原市東本町2-6-6
☎ 0824-72-3366
Fax 0824-74-6336

6月議会を終えて

一般質問は13人の議員が、スポーツ振興・七塚原高原の活用・芸備線活用促進・コロナ対策・運転免許返納支援・「かんぼの郷」取得に関すること・広報・いざなみカードの利用促進・人口減少対策専門チーム・農林業の振興・キヤッシュレス決済・市民生活の現状把握・情報発信の拡充・子どもの人権を守るケアなどについて質問しました。

ふじき百合子の初質問

①女性の地位向上と貧困問題

私は、庄原市において模範となる職場である市役所は、よりよい住民サービスを提供するために、職員が働きがいをもって働き続けられる職場であってほしい。女性管理職5人の占める割合(10.2%)、一般職採用試験受験者男女数(女53人男83人)昨年度の育児休業取得者数(11人)のうち男性の育児休業取得者数(4人)を問い、意思決定

の場に女性の声が反映され、エンダーギャップ指数120位の日本の在りようの改善、男性の育児休業取得を促す「改正育児、介護休業法」への取り組みを質しました。

コロナ禍において、非正規労働が多い女性の貧困が問題となっており庄原市の現状を問いましたが統計的に把握することは難しく、母子家庭の生活保護受給率などもコロナ以前と変化はみられないようです。しかしセーフティネットである生活保護など、さらに受け易くするよう求めました。

②「生理の貧困」対策

6月21日の新聞報道で庄原市も相談体制を備え取り組むと発表されたことを評価し、さらに、デリケートな問題なので女子トイレに設置するなど、トイレトパーパーと同じ感覚で必要不可欠な物として扱ってもらいたいと要望し、性教育、命の大切さを低学年より充実させて欲しい

と要求しました。

かんぼの郷庄原問題

もともとかんぼの郷庄原は、郵政省の政策にもとづき「地元自治体と連携して健康でゆとりある地域社会づくりに貢献する」ことを目的に建設されたものであり、それを引き継ぐ日本郵政株は資本金3兆5千億円を超える超大企業であり、その社会的責任を果たす義務があります。赤字だからといって庄原市に買い取り迫るのはどうでしょうか？かんぼの郷に関しては4人が質問しました。

厳しい市の財政状況を踏まえ正確な数値による情報提供、10年、20年後の見通しは？市民の財政負担は？6月末に結論ではなくもっと検討すべきなどの意見が出ました。庄原市は9月議会に予算を提出するとしています。市民に責任を持つ議員として判断が求められます。

教育長の任命同意について

市長より前教育長であった牧原明人氏を再度教育長に任命したいと最終日に提案がありました。

3月議会の最終日に上程予定であったものを「一身上の都合」で取りやめた経緯がある中で、一身上の都合は整理され任命を断られる理由がなくなつたので今回再任を求めるといふ説明でした。これまでに例のない同意提案に対し、市民の声を代弁して宇江田・谷口・福山の3議員が反対討論を、赤木・堀井の2議員が賛成討論を行いました。

討論終了後、採決で藤木、谷口、宇江田、福山、国利、松本の6人が反対したものの13人が賛成し、教育長人事は同意されました。

市長による教育会議での発言が牧原教育長で実践されるのか注視する必要があります。ご意見がごあります。



どんなことでも
お気軽に相談ください
ふじき百合子
080-1906-4673